

# 事業概要

(滋賀県：葛木竜法師線)

応募No.	9		
事業主体	滋賀県	事業箇所	しがけん こうかし こうなんちょうかづらき りゅうぼうし 滋賀県甲賀市甲南町葛木～竜法師
応募者名	滋賀県都市計画課		
ふりがな 事業名称	とし けいかく どうろ かづらき りゅうぼうし せん 都市計画道路 葛木竜法師線		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、甲賀市甲南町の甲南駅周辺市街地と甲賀市中心部を結び、市内を南北に縦断する主要な幹線道路として都市計画決定された約1.4kmの区間のうち、特にボトルネックとなっていたJR草津線や河川をオーバーパスする区間(約0.3km)を含む約0.8kmを整備したものである。</p> <p>甲賀市地域防災計画において緊急輸送路にも指定されている同都市計画道路を整備したことにより、市街地のほか、新名神高速道路甲南IC、広域避難場所である甲南公民館、近隣の総合病院甲賀病院等とのアクセスを向上させることができた。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.8km	
	幅員(m)	平面部:17m、橋梁部:12m	
	事業期間(和暦)	平成19年～平成28年(開通日平成29年3月30日)	
	事業費(億円)	約27億円	
URL	—		

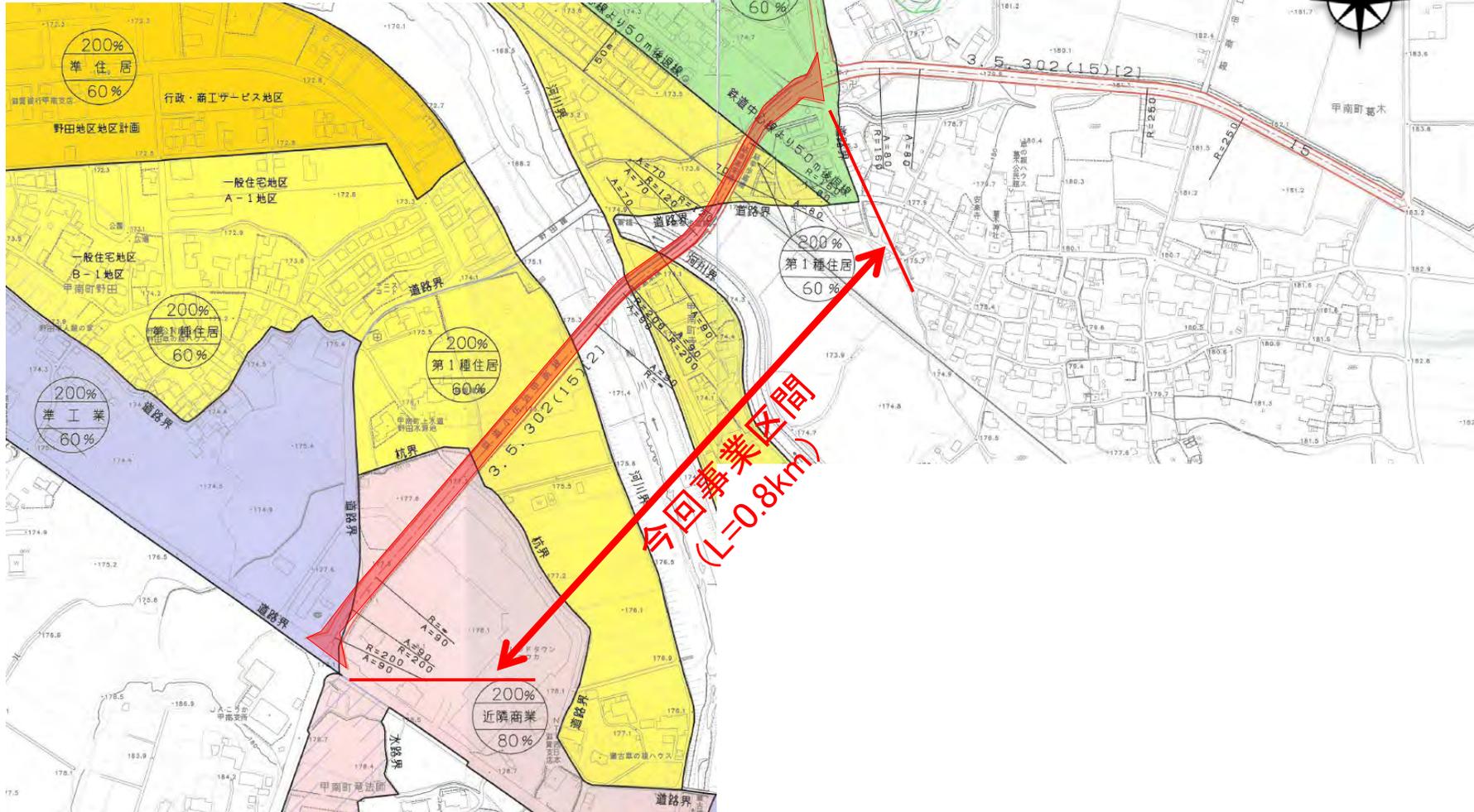
# 事業位置図



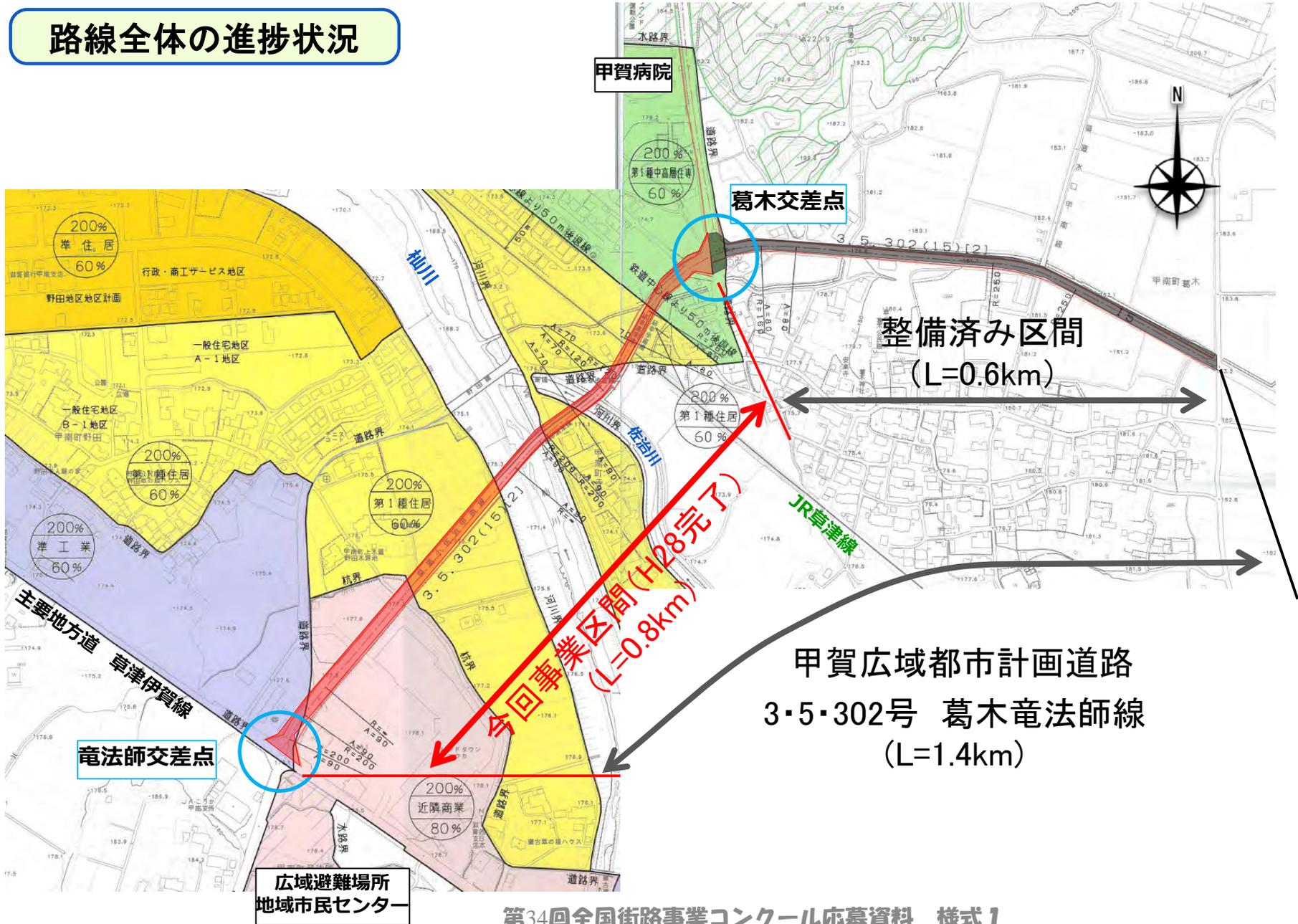
©INCREM P CORPORATION



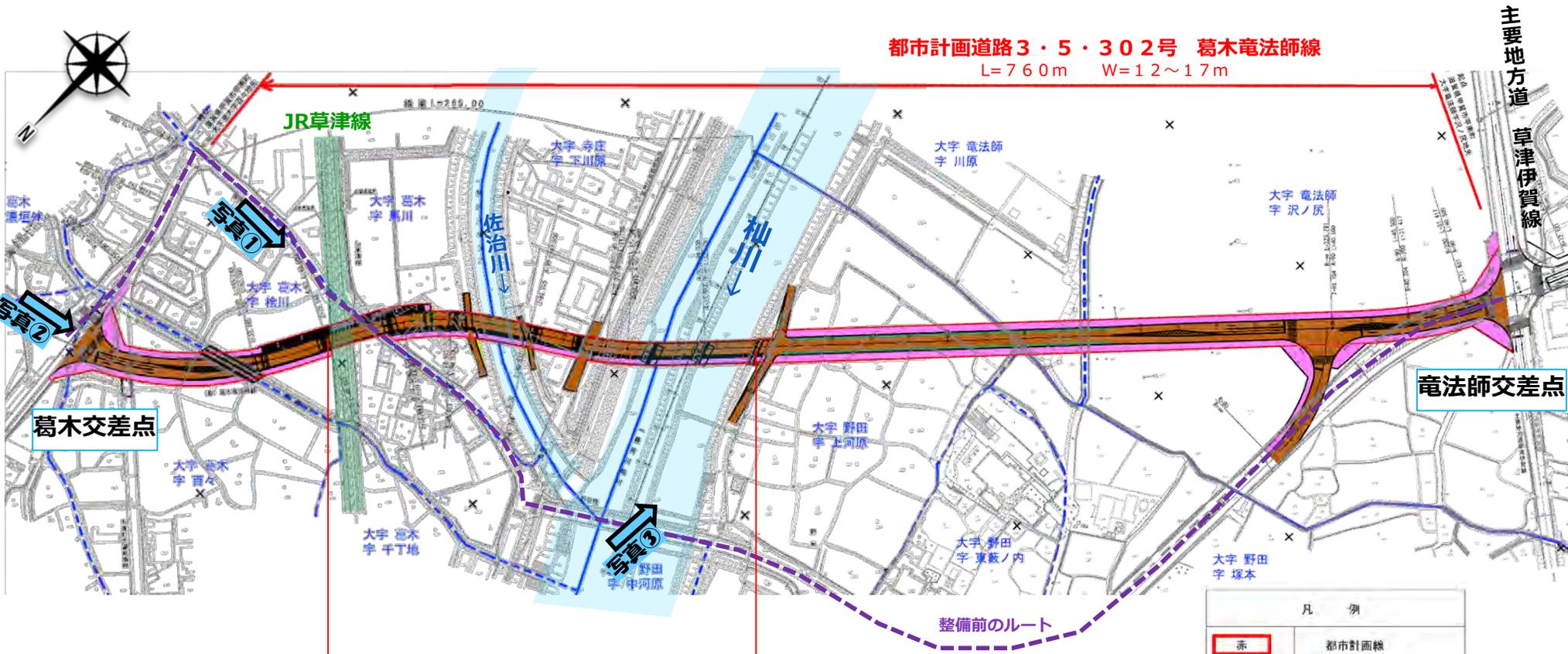
# 都市計画図(用途地域図)



# 路線全体の進捗状況



平面図



都市計画道路3・5・302号 葛木竜法師線  
L=760m W=12~17m

主要地方道  
草津伊賀線

竜法師交差点

葛木交差点

結幸高架橋  
(ゆいさちこうかきょう)  
8径間連続プレビーム合成桁橋  
L=258.5m

凡 例	
赤	都市計画線
桃	歩 道
緑	緑地・環境施設帯
黄緑	盛 土
茶	取付道路・測道
茶	道 路
朱	構 造 物
橙	切 土



# 事業前写真

写真①



平成19年撮影

写真②



平成19年撮影

写真③



平成19年撮影

# 事業後写真

(滋賀県：葛木電法師線)

写真①



令和3年撮影

写真②



令和3年撮影

写真③

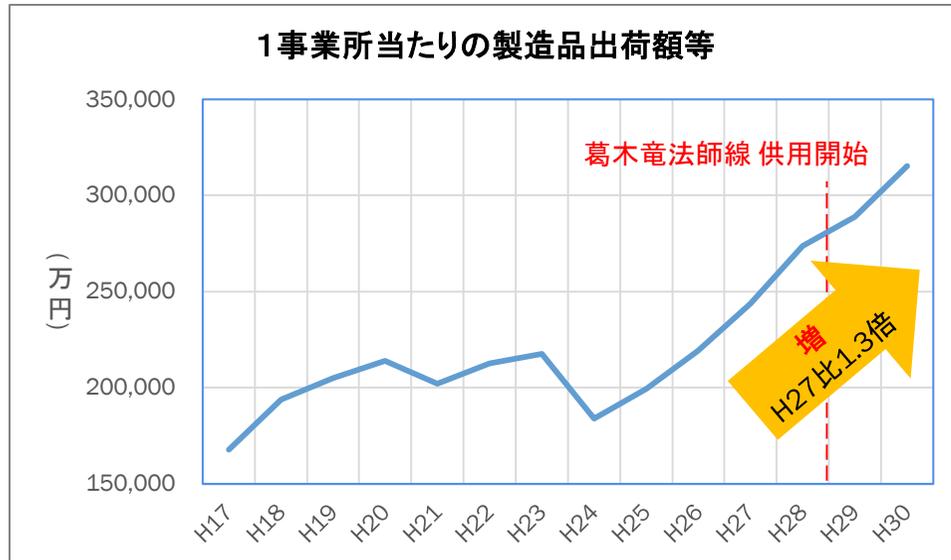


令和3年撮影

## 事業効果アピール資料

### インターアクセスの向上により地域経済の持続的成長に寄与

- 新名神高速道路の開通(H20)以降、滋賀県内の物流環境が向上  
→ 甲賀市における製造品出荷額等が増加傾向に転じた
- 葛木竜法師線の開通(H28)により甲南ICと甲賀市内とを結ぶルート上のボトルネックが解消  
→ インターアクセスが向上し、甲賀市における地域経済(製造品出荷額等)の持続的な成長に寄与した  
[下表. 1事業所当たりの製造品出荷額等]



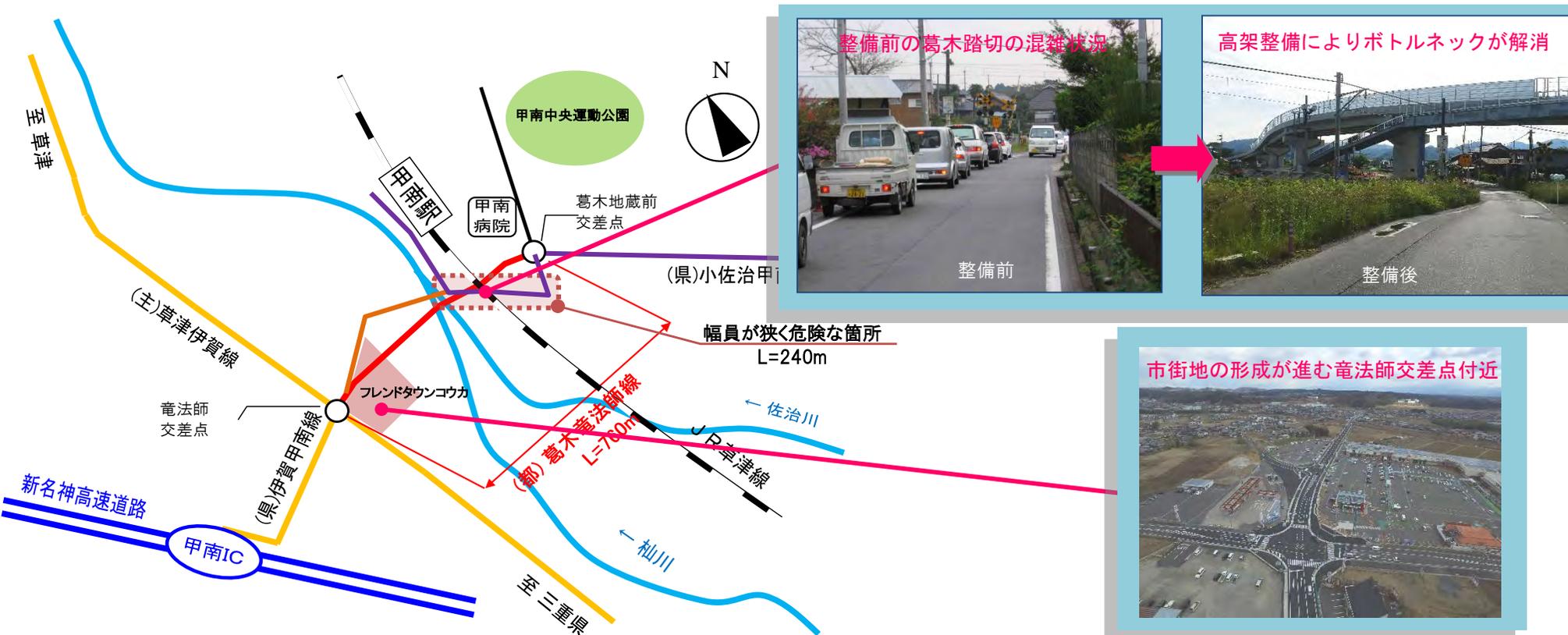
<工業統計調査結果より>



## 事業効果アピール資料

### 狭隘な踏切区間を高架化し、安全な生活空間と機能的な街区の形成を推進

- 当事業区間は、新名神高速道路 甲南IC とJR甲南駅周辺市街地や甲賀市中心部を結ぶ重要なルートとして、事業着手前からピーク時には約500台/時の交通量がありましたが、JR草津線を横断する葛木踏切の有効幅員が約4.0mと狭く、慢性的に渋滞が発生するとともに、自転車・歩行者にとっても危険な踏切でした。
- 当該区間を高架化したことにより、渋滞解消と歩行者・自転車の安全確保を図ることができました。また、竜法師交差点付近で大規模な店舗が開発されるなど、新たな市街地の形成にも貢献しています。



## 苦労や工夫等アピール資料

### ■工夫②…地域と協働で橋梁名を決定

高架橋の名称を決めるに当たり、地元中学生の協力を得て、甲賀市立甲南中学校後期生徒会が「この新しい橋が人々の幸せを結んでいく橋になってほしい」との思いや「まちにたくさんの幸せをよび、“笑顔”が訪れ、家族、恋人、夫婦を結ぶ橋になってほしい」との思いを込めて、高架橋名を「結幸高架橋(ゆいさち こうかきょう)」と名付けていただきました。



起点(葛木交差点上空)から終点(竜法師交差点)を望む



開通式の様子(写真右の3名が地元中学校より参加)

受賞歴・報道資料

■京都新聞(滋賀版) 2017年4月1日掲載

# 県道葛木竜法師線が開通

## 甲賀新名神へアクセス向上

甲賀市の竜法師交差点から葛木地藏前交差点を結び、JR草津線と立体交差する高架橋(258㍍)を含む県道葛木竜法師線(760㍍)が30日、開通した。県甲賀土木事務所は、踏切による渋滞が緩和し、市街地から新名神高速道路甲南インターチェンジ(IC)へのアクセスも良くなると

する。

新道は2車線で、2011年度に着工。総工費は約27億円で、同事務所は一日の交通量は6800台を見込む。高架橋は歩道橋も併設。鉄鋼をコンクリートで巻く工法では国内最長の橋桁となる。地元の甲南中の生徒らに名称を募り「結幸高架橋」と名付けた。

同事務所によると、近くを通る県道の葛木踏切は、約3㍍の道幅に多い時で1時間に車500台が通行していた。甲南ICへ向かう大型車両の通行も多く、慢性的な渋滞が起きていた。

この日、市は開通式を開き、岩永裕貴市長や野村正明甲賀署長らがテープカットを行った。式典の後、午後2時に使用開始。道をふさいでいたバリケードや三角コーンが撤去されると、多くの車が交差点から新道に流れ込んだ。



開通した県道葛木竜法師線

(甲賀市甲南町)

(門田俊宏)